

◆ 平成29年度活動報告シート ◆

団体名：NPO 法人 自然エネルギーを普及させる会

20A-10

代表者：代表理事 朝廣 亮

URL :

1. 活動が必要とされた状況

パリ協定が平成28年11月に正式に発効し、地球温暖化防止の一つとして、自然エネルギーを積極的に活用することとしています。未来を担う子ども達が、自然エネルギーを身近に見て触れるなど、体験をとおして意識を持ってもらうことが重要です。そのため、子ども達が見て触れる啓発道具である、自転車の発電機付車輪を利用した手作り水車や太陽光発電などの道具を活用し、さらなる普及が必要と感じています。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

サイサン環境保全基金で作成した水車や太陽光発電システム、さらに今年度同基金で作成した「風車」を加えて、イベントに参加し啓発を行いました。

・出展イベント名と場所、参加人数を下記に表記します。

日時	イベント名	場所	入場者数
5月5日	子供交流体験フェスティバル	代々木公園（新宿区）	5,000
7月29日	打ち水大作戦	さいたま新都心コクーン	100
9月17日	さいたまカーフリーデー	鐘塚公園（大宮区）	中止
10月15日	親子交通安全フェスティバル	ファインモータースクール大宮	50

※天候不順のため、さいたまカーフリーデーは中止、打ち水大作戦や親子交通安全フェスティバルは規模や時間が縮小され、予定通り実行できなかった。



3. 活動の成果

子ども達ばかりでなく、保護者にも自転車の車輪で作った水車や太陽光発電システム、及び風車等により、自然エネルギー利用には興味を感じてもらえたと思います。

4. 今後に残された課題

- ・野外のイベントは天候に左右されやすいため、いつでも体験できるよう施設内に常設できる場所が必要。
- ・水車や風車の作成や、イベント時の道具運搬に費用がかかる。運営費の確保が課題。
- ・高学年や大人対象に発電量が見える化する表示機器が必要。
- ・活動を継続するための、スタッフの増員と協力者が必要。
- ・水車等は夏場のイベント対象道具なので、冬場での啓発方法を検討。